

事業所名		放課後等デイサービスあゆみ		支援プログラム（放課後等デイサービス）		作成日		2025 年		3 月		25 日	
法人（事業所）理念		私たちは、「こどもたち及び保護者への支援」を通じ、子どもたちの将来の自立を見据え、一人ひとりの個性を大切にし、子どもたちの最善の利益と健全な育成を目指します。 1.子どもたちの成長支援と基本姿勢 子どもたち一人ひとりの気持ちや個性を大切に、「楽しく遊ぶ」・「楽しく学ぶ」・「個性を育む」・「自己肯定感を育む」を基本に、「生活能力と社会交流」が向上・促進できるよう、社会的責任と使命感を持ち、子どもたちへの支援を行います。 2.保護者への支援 子育ての悩み等に対する相談や援助を行い、保護者がゆとりと自信を持って子育てに向き合えるように支援を行います。 3.人権擁護 子どもたち一人ひとりは、かけがえのない存在であることを認識し、一人ひとりの個性と人権を大切にしながら、子どもたちが可能性を持って成長できる社会作りに努めます。 4.職員の幸福 職員が、働くことに喜び・やりがいを感じ、達成感と向上心を持てるよう、労働環境の向上を継続的に図ります。 5.地域社会との共生 地域における事業の理解を深め、地域と協力しながら子どもたちを見守り、育てる共生社会の実現に努めます。											
支援方針		「生活能力の向上のための必要な支援」・「社会との交流促進」・「その他の便宜の供与」を目的に、4つの基本活動「日常生活の充実と自立支援のための活動」・「多様な遊びや体験活動」・「地域交流の活動」・「こどもが主体的に参画できる活動」をベースに、児童の将来の自立を見据え、学齢期にあった学習・生活能力・社会性等の向上に向けた支援を継続的に行うことで、児童の自信に繋がる成長を目指します。 【「放課後等デイサービスあゆみ」が考える児童への支援】 1.できたね、がんばったね、を増やし、やる気を育てます。 2.日々の変化に富んだカリキュラムを通じた児童へのアプローチを行います。 3.児童の将来の自立を見据え、児童のペースを考えながら歩んでいきます。											
営業時間		10 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・児童の表情にも留意しながら、検温等の健康チェックを行う。 ・保護者と連携を図り、児童の生活リズムの形成・安定を図る。 ・見通しを持って取り組めるように構造化する。											
	運動・感覚	・個々に応じた個別活動内容を提案する。（例：指先訓練、工作等） ・安全面を十分に確保しながら、バランス感覚や道具を使った運動等、楽しみながら体を動かす活動内容を提案する。（例：風船バレー、片足バランス等） ・聴覚・視覚・触覚等の感覚を養う活動内容を提案し、好奇心や注意力、判断力の向上を図る。（例：箱の中身は？ 間違い探し等）											
	認知・行動	・各職員が児童の認知の特性を理解・把握し、個々に合った支援方法を考える。 ・SST等の活動を通して、状況に応じた言動を考える機会を設ける。 ・施設外活動やイベントを通して、季節等の変化を体感することで、環境の状況を把握・理解できるように支援する。											
	言語 コミュニケーション	・集団活動、SST等の機会を通して、会話のやり取りをしながら、相手の気持ちを理解することや自分の考えを伝えられるように支援する。 ・児童一人ひとりの発達状況や興味・関心に合った声かけや、意思表示しやすい環境を整える。 ・円滑な交流を築けるように、相手への伝え方や話を最後まで聞く等の助言を行う。											
	人間関係 社会性	・他児童や職員との関わりの機会や環境を提供し、人間関係形成を促進する。 ・集団活動を提供により、ルールを守って行動したり、他児童と活動することの楽しみを感じることで社会性を身に付ける。 ・児童一人ひとりの関心や理解度に配慮し、無理のないペースで取り組めるように支援する。											
家族支援		・保護者や家族のレスパイト ・サービス提供時間前後の延長支援の実施 ・児童の様子を相互に理解し合えるように、連絡票、送迎時及び面談等を通じた伝達 ・保護者との意思疎通と相談援助 等						移行支援		・学齢期及び将来を見据えた学習環境の整備及び支援 ・施設外活動を通して、地域社会及び社会との交流機会の提供及び支援 ・進学、就労等の将来を見据えた関係機関との連携 ・進路選択についての保護者等への相談援助 等			
地域支援・地域連携		・通学先の学校教員、相談支援事業所等との連携 ・状況に応じた関係機関とのケース会議の実施 等						職員の質の向上		・年間研修計画に基づき、定期的に全職員を対象とした研修を実施（社内研修） ・児童支援に関わるスキル向上を目的とした研修に参加（社外研修） ・各種加入団体が主催する福祉施設運営に関わる研修に参加（社外研修） ・福祉関係者との意見交換会に参加（社外研修） 等			
主な行事等		・月次ベースで集団活動テーマを設定（具体的な活動内容は、年間カリキュラムに記載） ・季節に応じたイベント（川遊び、収穫体験、魚釣り、節分、ハロウィン等） ・休日利用時の施設外活動（ハイキング、社会科見学、ボウリング、物作り体験 等）											

2025年度 放課後等デイサービスあゆみ 年間カリキュラム

月	テーマ	目的・ねらい	発達支援の5領域
			(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
4月	新学期スタート 新たな気持ちで 取組もう	・新しい環境(進級・進学)になれ生活リズムを整える。 ・自己紹介カード、グループでの話し合いを通じ人間関係・社会性の向上を目指す ・色々な体験を通じ季節を感じる。	健康・生活：おやつ作り・公園遊び、衣服の調節(暑い時は脱ぐ)・ABA(困った時) 運動・感覚：感覚運動(木工工作・たけのこ堀り)・外遊び 認知・行動：お金の学習(買い物体験)・たけのこ堀りを通して季節や自然を体験する。 言語・コミュニケーション：SSTを通してコミュニケーション力の向上を目指す。 人間関係・社会性：自己紹介カード作り・荷物運びリレー等のゲームを通じた交流を図る
5月	意欲と好奇心を 持って取り組もう	・自然との触れ合いの中で、季節の変化や自然への興味・関心を育てる。 ・グループでのおやつ作り・そば打ち体験を通して生活スキル・社会性の向上を目指す。	健康・生活：おやつ作り・ハイキング・外遊び・そば打ち体験 運動・感覚：ハイキング・そば打ち体験を通して身体の使い方を覚える。 認知・行動：マップ作り。ハイキングや里山の散策を通して、季節や自然を体験する 言語・コミュニケーション：SST(挨拶について学ぼう)・あゆみのルールについてみんなで考える 人間関係・社会性：ルールを持った遊び(あいうえお作文・ペタング・言葉で爆弾ゲーム等)
6月	集中力・バランス 感覚を養おう	・運動遊び・ゲームを通して、集中力・バランス感覚の向上を目指す。 ・グループでのピザ作り体験やSSTを通して、人間関係や社会性の向上を目指す。	健康・生活：おやつ作り・外遊び・防災かるたを通して防災を楽しく学ぶ。 運動・感覚：体感運動(ボッチャ・サーキット)・タワーチャレンジ(指先の感覚) 認知・行動：ハイキングや里山の散策を通して、季節や自然を体験する 言語・コミュニケーション：SST(本当はこれがやりたかったのに)を通して気持ちを表出する 人間関係・社会性：自分たちで役割を考え、集団活動を行う。
7月	身体能力を 高めよう	・川遊びや運動ゲームを通して、楽しみながら運動能力の向上を目指す。 ・工場見学やおせんべい焼き体験を通じて地域との交流を図る。	健康・生活：おやつ作り・掃除・熱中症予防(衣服の調節・水分補給) 運動・感覚：川遊び・プール遊び・モルック・ラジオ体操 認知・行動：木工体験(空間把握、物の変化)・音楽を聴きながらのリズム遊び 言語・コミュニケーション：1学期目標の振り返り発表・SST(嘘をついてしまったら) 人間関係・社会性：地域の方との交流(工場見学)・交流イベント
8月	夏休みを 楽しもう	・夏の遊び(川遊び・プール)を通して夏を楽しむ。 ・工場見学やを通して地域との交流を図る。 ・消防士による応急手当の方法を学ぶ。	健康・生活：応急手当、掃除、食器洗い、おやつ作り・熱中症予防(衣服の調節・水分補給) 運動・感覚：川遊び・プール・ラジオ体操・壁面工作(花火) 認知・行動：朝の会に於いて、タイムテーブルの確認による時間の認知形成。 言語・コミュニケーション：異年齢児童とのグループ活動(夏の壁面工作) 人間関係・社会性：地域の方との交流(工場見学)・交流イベント(夏祭りに参加)
9月	想像力・創造力を 伸ばそう	・季節の工作・お話作り等を通して想像力・創造力を伸ばす。 ・日頃の言葉遣いや相手への思いやりについて考える。	健康・生活：おやつ作り・熱中症予防(衣服の調節・水分補給) 運動・感覚：縄跳び・プール・ボール遊び(ドッチボール) 認知・行動：お話作り・基地づくりを通じた認知過程の発達支援・お月見工作 言語・コミュニケーション：SST(ルールを破ってしまったら) 人間関係・社会性：人生ゲーム(自分で考えて作る)・地域の方との交流(野菜の植え付け)

10月	みんなと交流を深めよう	・季節の行事を知り、みんなとイベントを楽しむ。(ハロウィーンイベント) ・電車乗車体験・芋ほりを通して、社会との交流を図る。	健康・生活：おやつ作り・芋ほり・ハロウィーンイベント 運動・感覚：微細運動(ハロウィーン工作)・感覚運動遊び(大縄跳び・変則ボール回し) 認知・行動：芋ほり体験を通して、収穫する喜びを知る。実験による物質変化の認知形成 言語・コミュニケーション：SST(みんなと意見が違ったら) 人間関係・社会性：ハロウィーンイベント・赤電乗車体験(美蘭公園)
11月	身体能力を高めよう	・様々な動きを通して、運動能力の向上を目指す。(俊敏性・筋力・柔軟性) ・みかん狩りや木の実拾いを通して、季節の変化を感じ取る。 ・あゆみ感染予防週間を通して、感染予防の学習を行う。	健康・生活：おやつ作り・感染予防学習(手洗い・うがい・マスク着用) 運動・感覚：遊具遊び・木の実を使った工作・感覚運動遊び(転がしドッチ・サーキット) 認知・行動：木の実拾い・みかん狩りを通して季節の変化を体験する。 言語・コミュニケーション：SST(意見がまとまらない時) 人間関係・社会性：みかん狩り・ネイチャーゲームを通して交流を図る。
12月	今年を振り返ろう	・大掃除・正月飾り作り・餅つき体験を通して、季節の行事を知り、体感する。 ・避難訓練を行い、防災意識を持つ。 ・餅つき体験や餅をこねる動作を通して、感覚統合力の向上を目指す。	健康・生活：避難訓練・おやつ作り・掃除・避難訓練 運動・感覚：ラジオ体操・微細運動(正月飾り作り)・コマ遊び 認知・行動：正月飾り作りや大掃除を通して季節の行事に関心を持つ 言語・コミュニケーション：今年を振り返り出来たこと出来なかったことについて話しあう 人間関係・社会性：役割を分担し大掃除をする。協力して餅つきをする。
1月	新たな目標に向かって	・初詣や正月遊びを通して季節の行事を知り体感する。 ・今年の抱負を考え、新たな気持ちで色々なことにチャレンジする。	健康・生活：おやつ作り・昼食づくり・掃除・ABA(怒ってしまうのはどんな時) 運動・感覚：ラジオ体操・風揚げ・アスレチック(体幹・腕力・下肢・上肢・バランス感覚) 認知・行動：初詣や鏡開き等を通して、行事を再認識する。 言語・コミュニケーション：今年の目標を考えて発表する。 人間関係・社会性：初詣・正月遊び(双六・風揚げ・福笑い等)
2月	興味を持って取り組もう	・実験や工作、地下資源館での体験を通して興味の幅を増やすと共に、認知機能の向上をめざす。 ・パン作り体験を通して、指先の感覚、運動能力の向上を目指す。	健康・生活：パン作り体験・おやつ作り 運動・感覚：パン作り体験を通して、指先の感覚、運動能力の向上を目指す。 認知・行動：実験・地下資源館での体験等を通して認知機能の向上を目指す。 言語・コミュニケーション：伝言ゲーム・文字探しを通じた言語理解の向上を目指す。 人間関係・社会性：役割を持った集団活動により、向上を目指す。
3月	「年度の終わり」思い出をたくさん作ろう	・一年の総まとめをし、出来るようになったこと等自分で成長を認識する。 ・施設外活動等を通じ、季節の変化を感じ取る。	健康・生活：昼食作り・おやつ作り・公園遊び・避難訓練 運動・感覚：体感運動(公園遊び・縄跳び・遊具)・季節の工作(微細運動) 認知・行動：1年の成長を振り返り、成長を感じとり発表する 言語・コミュニケーション：みんなの前で発表する。 人間関係・社会性：やりたいことをみんなで話し合う。地区社協との交流会イベント